# 



このたびは、ビデオトロン製品をお買い上げいただきありがとうございました。 安全に正しくお使いいただくため、ご使用の前にこの取扱説明書を必ずお読みください。



# この製品を安全にご使用いただくために



誤った取扱いをすると死亡または重傷、火災など重大な結果を招く恐れがあります。

#### 1)電源プラグ、コードは

- ・定格で定められた電源以外は使用しないでください。
- ・差込みは確実に。ほこりの付着やゆるみは危険です。
- ・濡れた手でプラグの抜き差しを行わないでください。
- ・抜き差しは必ずプラグを持って行ってください。コードを持って引っ張らないでください。
- ・電源コードは巻かずに、伸ばして使用してください。
- ・電源コードの上に重い物を載せないでください。
- ・機械の取り外しや清掃時等は必ず機械の電源スイッチを OFF にし、電源プラグを抜いてから行ってください。

#### 2)本体が熱くなったら、焦げ臭いにおいがしたら

- ・すぐに電源スイッチを切ってください。電源スイッチのない機械の場合は、電源プラグを抜くなどして電源の供給を 停止してください。機械の保護回路により電源が切れた場合、あるいはブザー等による警報がある場合にもすぐに 電源スイッチを切るか、電源プラグを抜いてください。
- ・空調設備を確認してください。
- ・しばらくの間機械に触れないでください。冷却ファンの停止などにより異常発熱している場合があります。
- ・機械の通風孔をふさぐような設置をしないでください。熱がこもり異常発熱の原因になります。
- ・消火器の設置をお勧めします。緊急の場合に取り扱えるようにしてください。

#### 3)修理等は、弊社サービスにお任せください

- ・感電・故障・発火・異常発熱などの原因になりますので、弊社サービスマン以外は分解・修理などを行わないでください。
- ・故障の場合は、弊社 サポートセンターへご連絡ください。

#### 4)その他

- ・長期に渡ってご使用にならない時は電源スイッチを切り、安全のため電源プラグを抜いてください。
- ・質量のある機械は一人で持たず、複数人でしっかりと持ってください。転倒や機械の落下によりけがの原因になります。
- ・冷却ファンが回っている時はファンに触れないでください。ファン交換などは必ず電源を切り、停止していることを確かめて から行ってください。
- ・車載して使用する場合は、より確実に固定してください。転倒し、けがの原因になります。
- ・ラックマウントおよびラックの固定はしっかりと行ってください。地震などの災害時に危険です。
- ・機械内部に異物が入らないようにしてください。感電・故障・発火の原因になります。



誤った取扱いをすると機械や財産の損害など重大な結果を招く恐れがあります。

#### 1)機械の持ち運びに注意してください

・落下等による衝撃は機械の故障の原因になります。
 また、足元に落としたりしますとけがの原因になります。

#### 2)外部記憶メディア対応の製品では

- ・規格に合わないメディアの使用はドライブ・コネクターの故障の原因になります。 マニュアルに記載されている規格の製品をご使用ください。
- ・強い磁場がかかる場所に置いたり近づけたりしないでください。内部データに影響を及ぼす場合があります。
- ・湿気やほこりの多い場所での使用は避けてください。故障の原因になります。
- ・大切なデータはバックアップを取ることをおすすめします。

#### ●定期的なお手入れをおすすめします

- ・ほこりや異物等の浸入により接触不良や部品の故障が発生します。
- ・お手入れの際は必ず電源を切り、電源プラグを抜いてから行ってください。
   また、電解コンデンサー、バッテリー他、長期使用劣化部品等は事故の原因につながります。
   安心してご使用していただくために定期的な(5年に一度)オーバーホール点検をおすすめします。
   期間、費用等につきましては弊社 サポートセンターまでお問い合わせください。

※上記現象以外でも故障かなと思われた場合やご不明な点がありましたら、弊社 サポートセンターまでご連絡ください。

#### 保証規定

- 本製品の保証期間は、お買い上げ日より1年間とさせていただきます。
   なお、保証期間内であっても次の項目に該当する場合は有償修理となります。
  - (1)ご利用者様での、輸送、移動、落下時に生じた製品破損、損傷、不具合。
  - (2) 適切でない取り扱いにより生じた製品破損、損傷、不具合。
  - (3)火災、天災、設備異常、供給電圧の異常、不適切な信号入力などにより生じた破損、損傷、不具合。
  - (4) 当社製品以外の機器が起因して当社製品に生じた破損、損傷、不具合。

(5)当社以外で修理、調整、改造が行われている場合、またその結果生じた破損、損傷、不具合。

#### ② 保証は日本国内においてのみ有効です。【This Warranty is valid only in Japan.】

#### ③ 修理責任免責事項について

当社の製品におきまして、有償無償期間に関わらず出来る限りご依頼に沿える修理対応を旨としておりますが、 以下の項目に該当する場合はやむをえず修理対応をお断りさせていただく場合がございます。

- (1) 生産終了より7年以上経過した製品、及び製造から10年以上経過し、機器の信頼性が著しく低下した製品。
- (2)交換の必要な保守部品が製造中止により入手不可能となり在庫もない場合。
- (3)修理費の総額が製品価格を上回る場合。

(4) 落雷、火災、水害、冠水、天災などによる破損、損傷で、修理後の恒久的な信頼性を保証出来ない場合。

#### ④ アプリケーションソフトについて

- (1) 製品に付属しているアプリケーションは、上記規定に準じます。
- (2)アプリケーション単体で販売している場合は、販売終了より3年経過した時点で、サポートを終了いたします。

※紙の保証書は廃止し、製品のシリアル番号で保証期間内外の判断をさせていただいております。

何卒、ご理解の程よろしくお願いいたします。

# ------ 目 次 ------

こ	の製品を	安全にご使用いただくために	I				
保	証規定…		m				
1.	概該	j	1				
	《特 長	»	1				
2.	構成と	-機能チェック	2				
	1. 構丿	龙	2				
	2. POV	/ER ONまでの手順	2				
	3. 基本	動作チェック	3				
	i.	[PANEL1]:MTX-70 制御選択時	3				
	ii.	[PANEL2][PANEL3]:FS-70M4 接続時	3				
	iii.	[PANEL2][PANEL3]:FS-70U 接続時	4				
	iv.	[PANEL2] [PANEL3]:UHC-70/HUC-70 接続時	4				
	٧.	[LAN]: SNMP 制御選択時	5				
	vi.	[LAN]: LAN CONTROL 制御選択時	6				
З.	各部の	D名称と働き	7				
	1. MCF	2–01F	7				
2. MCP-01FL							
	3. MCP-02H						
	4. MCF	>-02HL	8				
4.	操作	5法	11				
	1.	操作先コネクター[PANEL1]選択時 接続機種MTX−70	11				
	i.	通常モード	11				
	ii.	SHIFT モード	11				
	iii.	MENU モード	11				
	2.	操作先コネクター[PANEL2] [PANEL3]選択時 接続機種FS-70M4	12				
	i.	通常モード	12				
	ii.	MENU モード	12				
	3.	操作先コネクター[PANEL2] [PANEL3]選択時 接続機種FS-70U	13				
	iii.	通常モード	13				
	iv.	MENU モード	13				
	4.	操作先コネクター[PANEL2] [PANEL3]選択時 接続機種UHC-70/HUC-70	14				
	i.	通常モード	14				
	ii.	UHC/HUC MENU モード	14				
	5.	操作先コネクター[LAN]選択時 [LAN MODE] SNMP設定時	15				
	i.	通常モード	15				
	ii.	SHIFT モード	16				
	iii.	MENU モード	16				

	iv	<i>.</i>	SNMP 制御対応機種	17
	6.	損	作先コネクター[LAN]選択時 [LAN MODE] LAN CONTROL設定時	18
	i.		通常モード	18
	ii		LAN CONTROL MENU モード	19
	ii	i.		19
5.	メニ	- <b>-</b> -	―ツリー	20
	•MEI	NUF	内容詳細	22
6.	工物	易出	荷時設定	26
7.	トラ	ブノ	レシューティング	27
8.	仕	様		28
	1. 機	創	3	28
	2. 定	名格	f	28
	3. 性	飢	3	28
	4. 外	形	图	29
	(	1) M	CP-01F	29
	(2	2) M	CP-01FL	29
	(;	3) M	ICP-02H	
	(4	4) M	CP-02HL	

MCP-01F、MCP-01FL、MCP-02H、MCP-02HLは弊社70シリーズに対して同軸通信経由(MTX-70<sub>※1</sub>/FS-70M4/ UHC-70/HUC-70/FS-70U)、LAN通信経由(UHC-70/HUC-70/FS-70-4K/FS-70U)、SNMP通信経由で制御が行えるマ ルチコントロールパネルです。

SNMP制御およびUHC-70/HUC-70/FS-70-4K/FS-70U制御用LANコネクターを1個、MTX-70パネル通信用BNCを2個、 FS-70M4/FS-70U/UHC-70/HUC-70パネル通信用BNCを2個搭載しています。

MTX-70 は最大8台までのパネルをカスケード接続することが可能です。

FS-70M4は本体モジュール2台を接続し切り替えて制御を行うことが可能です。

同一筐体内のFS-70M4はサブ設定することで最大20台を切り替えて操作することが可能です。

FS-70Uは同軸通信経由で本体モジュール2台を接続し切り替えて制御を行うことが可能です。

UHC-70/HUC-70は同軸通信経由で本体モジュール2台を接続し切り替えて制御を行うことが可能です。

LAN経由で接続した場合はUHC-70/HUC-70/FS-70-4K/FS-70Uを10台まで操作することが可能です。

LAN経由ではSNMP制御、またはUHC-70/HUC-70/FS-70-4K/FS-70Uの制御をメニューにより選択できます。

《特 長》

- 液晶内蔵スイッチを使用しており、設定項目・設定値を明確に表示
- パネル全体の操作を禁止する LOCK スイッチを搭載
- LAN コネクターを搭載し、SNMP を利用した設定・制御が可能
- SNMP 制御では1ボタンに5つのコマンドまで割当てが可能
- 割当てコマンドは他機種でも、同一の筐体に実装されていなくても制御が可能
- カラーコレクションの設定などダイレクトな設定・制御が可能
   <FS-70M4/FS-70U/UHC-70/HUC-70/FS-70-4K 接続時>
- ▲ ▼ ボタンやロータリエンコーダ<sub>※2</sub>を使い、設定値の微調整が可能
   <FS-70M4/FS-70U/UHC-70/HUC-70/FS-70-4K 接続時>
- MTX-70 シリーズ製品※1のパネルとカスケード接続が可能〈MTX-70 接続時〉
- 各ディスティネーション、ソースに割り当てられたボタンデザインを表示〈MTX-70 接続時〉

※1 MTX-70-42F は使用できる MODE に制限があります。弊社担当者にご確認ください ※2 本書では以下"ロータリーエンコーダ"を"ツマミ"と称します。

# 2. 構成と機能チェック

#### 1.構成

[MCP-01F/MCP-01FL/MCP-02H/MCP-02HL]

番号	品名	型名·規格	数量	記事
1	*#	MCP-01F/MCP-01FL/	14	
	本神	MCP-02H/MCP-02HL		
2	電源ケーブル		1本	
3	取扱説明書		1部	本書
4	予備ヒューズ	0215002.MXP 2A(250V)	1個	ヒューズホルダーに実装済み
5	ラックマウントビス	5mm	4個	MCP-01F、MCP-01FLのみ

#### 2. POWER ONまでの手順

- (1) 電源ケーブルを本体へ正しく接続します。
- (2) 電源プラグを AC100V のコンセントに接続します。
- (3) 本体背面の電源スイッチを ON にします。
- (4)本体前面のスイッチとディスプレイが点灯します。
- (5) ディスプレイにバージョン情報が表示されます。
- (6) バージョン情報表示が初期状態に切り替わります。

#### 3. 基本動作チェック

下記の操作を行い、本機が正常に動作していることをチェックします。 ここでは、工場出荷時設定の状態で説明します。 操作先は、 [PANEL1]: MTX-70

[PANEL2] : FS-70M4/FS-70U/UHC-70/HUC-70

[PANEL3] : FS-70M4/FS-70U/UHC-70/HUC-70

[LAN]: UHC-70/HUC-70/FS-70-4K/FS-70U/SNMP制御

の4種類があり、SHIFTボタンの長押しによりボタンが青色点灯し、SETTING内の各ボタン(PANEL1) PANEL2 PANEL3 LAN)で操作先を選択できます。

正常に動作しない場合は「7.トラブルシューティング」を参照してください。

#### 接続例

#### i. [PANEL1]:MTX-70 \*\* 制御選択時

(1) 本体背面 PANEL1 IN と MTX-70-xx<sub>※1</sub>の PANEL コネクターを BNC ケーブルで接続します。

(2) MCP-01F(L) 02H(L)と MTX-70 が実装されている筐体の電源を投入します。
 SHIFT ボタンを長押し後、SETTING 内の PANEL1 ボタンを押します。
 表示器の下部に[CONNECT:PANEL-1]が表示されます。
 正しく接続すると 30 秒程で STATUS LED が赤色点滅から緑色点灯に変わります。
 赤色点滅が続いていれば通信異常を示します。
 正しく接続できたら、以下の操作で SOURCE/ DESTINATION を選択します。
 SOURCE 選択: SELECT/FUNCTION 内の任意ボタンを押します。
 DESTINATION 選択: SELECT/FUNCTION 内の任意ボタンを押します。
 \*\*1 MTX-70-42F は使用できる MODE に制限があります。弊社担当者にご確認ください

#### ii. [PANEL2][PANEL3]:FS-70M4 接続時



図2-3.1 基本動作チェック

以下の説明ではPANEL2とFS-70M4の接続を例にします。

- (1) 本体背面の PANEL2 と FS-70M4 の PANEL コネクターを BNC ケーブルで接続します。
- (2) MCP-01F(L) 02H(L)とFS-70M4 が実装されている筐体の電源を投入します。
- (3) SHIFT ボタンを長押し後、SETTING 内の PANEL2 ボタンを押します。 表示器の下部に[CONNECT: PANEL-2 SLOT-xx]が表示されます。
- (4) 正しく接続すると接続先と同じスロット番号の SELECT/FUNCTION 機能ボタンが点灯し、STATUS LED が 緑色点灯します。 STATUS LED が赤色点滅時は通信が切れている状態、赤色点灯時は通信異常を示します。
- (5) 正しく接続できたら SETTING 機能ボタンで設定値を変更します。

#### iii. [PANEL2][PANEL3]:FS-70U 接続時

以下の説明ではPANEL2とFS-70Uの接続を例にします。

- (1) 本体背面の PANEL2 と FS-70U の PANEL コネクターを BNC ケーブルで接続します。
- (2) MCP-01F(L) 02H(L)とFS-70U が実装されている筐体の電源を投入します。
- SHIFT ボタンを長押し後、SETTING 内の PANEL2 ボタンを押します。
   表示器の下部に[CONNECT:PANEL-2]が表示されます。
- (4) 正しく接続すると STATUS LED が緑色点灯します。STATUS LED が赤色点滅時は通信が切れている状態、赤色点灯時は通信異常を示します。
- (5) 正しく接続できたら SETTING 機能ボタンで設定値を変更します。

#### iv. [PANEL2] [PANEL3]: UHC-70/HUC-70 接続時

以下の説明では PANEL2 と UHC-70/HUC-70 の接続を例にします。

- (1) 本体背面の PANEL2 と UHC-70/HUC-70 の PANEL コネクターを BNC ケーブルで接続します。
- (2) MCP-01F(L) 02H(L)と UHC-70/HUC-70 が実装されている筐体の電源を投入します。
- (3) SHIFT ボタンを長押し後、SETTING 内の PANEL2 ボタンを押します。
   表示器の下部に[CONNECT:PANEL-2 UHC/HUC(UHC/HUC 部は機種名)]が表示されます。
- (4) 正しく接続すると STATUS LED が緑色点灯します。 STATUS LED が赤色点滅時は通信が切れている状態、赤色点灯時は通信異常を示します。
- (5) 正しく接続できたら ▲ ▼ ボタンでページ選択し SETTING 機能ボタンで設定値を変更します。

#### v. [LAN]: SNMP 制御選択時

- (1) 本体背面の LAN コネクターと制御先 Vbus 筐体を LAN ケーブルで接続します。 ハブ経由の接続でも、クロスケーブルによる直接接続でも構いません。
- (2) MCP-01F(L) 02H(L)と SNMP 対応モジュールが実装されている筐体の電源を投入します。
- SHIFT ボタンを長押し後、SETTING 内の LAN ボタンを押します。
   表示器の下部に[CONNECT:LAN GET:0]が表示されます。
- (4) MENU ボタンの長押しによりボタンが赤色点灯し、MENU 設定に入ります。
- (5) SELECT ボタン下のツマミを回し6ページ(-01FL、-02HL では5ページ)目[MCP CONFIG]を選択し
   SET ボタンを押します。
- (6) 2ページ目から順に MCP 本体の[IP ADDRESS] [SUBNETMASK] [GATEWAY]を設定します。
   CURSOR ボタン下のツマミを回すことでカーソルが移動できます。
   VALUE ボタン下のツマミを回して値を変更し SET ボタンで確定します。
- (7) 設定した IP アドレスで再起動するため、一旦 MCP-01F(L) 02H(L)の電源を切り再度投入します。
- (8) 次に接続先とする Vbus 筐体の IP アドレスとコミュニティ名を設定します。
   MENU ボタンを長押し後、MENU 設定に入ります。
   SELECT ボタン下のツマミを回し 4 ページ目[ADDRESS SETTING]を選択し、SET ボタンを押します。
   SETTING 内の各ボタンが SET NO CURSOR VALUE SET と表示されます。
   [ADDRESS SET No.1]を選択し、カーソルを動かして接続先 IP アドレスとコミュニティ名を SET ボタンで設定します。(工場出荷時におけるコミュニティ名は[VIDEOTRON]です)
   設定後 MENU ボタンを押すとボタンが消灯し、MENU 設定から抜けます。
- (9) SETTING 内の各ボタン表示が SNMP 制御モード時の左から ADRS No MODEL NAME/ID/INDEX VALUE に 変化します。
   ADRS No ボタン下のツマミを回し接続先のアドレスを指定します。

MODELボタン下のツマミを回し制御対象とする製品の番号を選択します。

NAME/ID/INDEX ボタン下のツマミを回し選択した製品の SNMP オブジェクト名/OID、インデックスを設定します。 す。NAME/ID/INDEX ボタンを押すことで、オブジェクト名表示/OID 表示、インデックス設定、表示のみ、を選 択できます。インデックスは実装スロットの番号です。

(例えば、制御対象とするモジュールスロットが3番の場合はインデックスに3を指定します。)

VALUE ボタン下のツマミを回し OID の値を設定します。

(10) 2 つあるフタ付きボタンのうち右ボタンは押すごとに、表示されている SNMP 内容の GET コマンドを 1 回発行 します。正しく接続できれば STATUS LED が緑色点灯し、接続異常の場合は赤色点灯します。

#### vi. [LAN]: LAN CONTROL 制御選択時

- (1) 本体背面 LAN コネクターと制御先 Vbus 筐体を LAN ケーブルで接続します。 ハブ経由の接続やクロスケーブルによる直接接続でも構いません。
- (2) MCP-01F(L) 02H(L)とUHC-70/HUC-70/FS-70-4K/FS-70U が実装されている筐体の電源を投入します。
- (3) SHIFT ボタンを長押し後、SETTING 内のLAN ボタンを押します。
   表示器の下部に[CONNECT:LAN SLOT-XX]が表示されます。
   ※SLOT-XX の XX には現在選択しているスロット番号が表示されます。
- (4) MENU ボタンの長押しによりボタンが赤色点灯し、MENU 設定に入ります。
- (5) SELECT ボタン下のツマミを回し 6 ページ目(-01FL、-02HL では 5 ページ)[MCP CONFIG]を選択後、
   SET ボタンを押します。
- (6) 4ページ目から順に MCP 本体の[IP ADDRESS] [SUBNETMASK] [GATEWAY]を設定します。
   CURSOR ボタン下のツマミを回すことでカーソルを移動します。
   VALUE ボタン下のツマミを回して値を変更し SET ボタンで確定します。
- (7) 設定した IP アドレスで再起動するため、一旦 MCP-01F(L) 02H(L)の電源を切り再度投入します。
- (8) LAN コネクターを LAN CONTROL 用に設定します。
   (6)(7)の手順で[MCP CONFIG]を選択しSET ボタンを押します。
- (9) 1ページ目[LAN MODE]で LAN CONTROL を設定します。
   VALUE ボタン下のツマミを回して LAN CONTROL を選択し SET ボタンで確定します。
   MENU ボタンが消灯し MENU から抜け、LAN モードが SNMP から LAN CONTROL へ変更されます。
- (10) 次に接続先とする Vbus 筐体の IP アドレスとポート番号、スロット番号を設定します。
  SHIFT ボタンを長押し後、ボタンが青色に変化した後 MENU ボタンを押すことで表示器に[MCP CONFIG]と表示され MENU 設定に入ります。
  SET ボタンを押して SELECT ボタン下のツマミを回し 11 ページ目の[LAN CONTROL DST IP]を選択し SET ボタンを押します。[SETTING]ボタンの表示が SELECT CURSOR VALUE SET にそれぞれ変化します。
  [LAN CTRL DST IP No.1]を選択、接続先 IP アドレスとポート番号を変更している場合はカーソルを動かしポート番号や実装されているスロット番号をそれぞれ設定し SET ボタンで確定します。
  (工場出荷時における Vbus 筐体のポート番号は 9010 です) 設定後 MENU ボタンを 3 回押すとボタンが消灯し MENU 設定から抜けます。
- (11) SELECT/FUNCTION 内にある左上(1番)から右下(10番)計 10 個のボタンが UHC/HUC DST IP No. の 選択ボタンとして動作します。
- (12) 正しく接続できれば STATUS LED が緑色点灯し、接続異常の場合は赤色点灯します。

## 3. 各部の名称と働き

#### 1. MCP-01F



2. MCP-01FL





4. MCP-02HL



図3-1.1 各部の名称と働き

(1) フタ付きボタン左

接続	機種	機能	説明
PANEL1	MTX-70	なし	
PANEL2/3	FS-70M4	BYPASS	接続しているFS-70M4のバイパスON/OFFを 行います。本体MENU操作モードの時は無効です。
*	FS-70U	なし	
	UHC-70, HUC-70	なし	
	SNMP	テスト用 SETコマンド発行	表示器の宛先に対しSNMP SETコマンドをテスト 発行します。
LAN	UHC-70, HUC-70, FS-70-4K	なし	
	FS-70U	なし	

(2) フタ付きボタン右

接続	機種	機能	説明
PANEL1	MTX-70	なし	
PANEL2/3	FS-70M4	FREEZE	接続しているFS-70M4のフリーズON/OFFを 行います。本体MENU操作モードの時は無効です。
*	FS-70U	FREEZE	強制フリーズを行います。
	UHC-70, HUC-70	なし	
	SNMP	テスト用 GETコマンド発行	表示器の宛先に対しSNMP GETコマンドをテスト 発行します。
LAN	UHC-70, HUC-70, FS-70-4K,FS-70U	なし	
	FS-70U	FREEZE	強制フリーズを行います。

#### (3) SELECT/FUNCTION機能 ボタン

接続	機種	機能	説明()内MCP01F 02Hのみ
	MTV_70	MTX-70	DSTを選択後、SOURCE選択を行います。
PANELI	WIT X=70	SOURCE	(SOURCE毎のボタンエディット表示対応)
	FS-70M4	FS-70M4 SLOT	選択された接続先のスロットを選択します。
		~_::	ビデオプロセスやRGB設定等のページ呼び出し、
	UHC-70, HUC-70		プリセットのLOADを行います。
PANELZ/3		73-6776	(各ページ名を文字表示します)
		ページ	ビデオプロセスやRGB設定等のページ呼び出しを
	F3-700	ショートカット	行います。(各ページ名を文字表示します)
			SELECT/FUNCTIONの各ボタンに割り当てたSNMP
			コマンドを発行します。SHIFTボタンとの併用で
	SNMP		RE         Interf() MICHOFF 02H004           D         DSTを選択後、SOURCE選択を行います。           E         (SOURCE毎のボタンエディット表示対応)           4 SLOT         選択された接続先のスロットを選択します。           レデオプロセスやRGB設定等のページ呼び出し、 プリセットのLOADを行います。 (各ページ名を文字表示します)           カット         ビデオプロセスやRGB設定等のページ呼び出しを 行います。(各ページ名を文字表示します)           SELECT/FUNCTIONの各ボタンに割り当てたSNMF コマンドを発行します。SHIFTボタンとの併用で 1~20の割り当てを使用できます。 (液晶ボタンの場合、その表示をWINDOWSアプリ にてカスタマイズできます)           の選択         MENU設定 LAN CTRL DST IP No.1-10で設定 された操作先を選択します。 (操作先のIPアドレスを文字表示します)
		IXXHE         IXXHOFOIR 02H07A           MTX-70         DSTを選択後、SOURCE選択を行います。           SOURCE         (SOURCE毎のボタンエディット表示対応)           FS-70M4 SLOT         選択された接続先のスロットを選択します。           ページ         ビデオプロセスやRGB設定等のページ呼び出し プリセットのLOADを行います。 (各ページ名を文字表示します)           ページ         ビデオプロセスやRGB設定等のページ呼び出 プリセットのLOADを行います。 (各ページ名を文字表示します)           ページ         ビデオプロセスやRGB設定等のページ呼び出 プリセットのLOADを行います。           ショートカット         行います。(各ページ名を文字表示します)           SELECT/FUNCTIONの各ボタンに割り当てたSM コマンドを発行します。SHIFT ボタンとの併用で 1~20の割り当てを使用できます。 (液晶ボタンの場合、その表示をWINDOWSアプ Iこてカスタマイズできます)           操作先の選択         MENU設定 LAN CTRL DST IP No.1-10で設定 された操作先を選択します。 (操作先のIPアドレスを文字表示します)	
LAN			にてカスタマイズできます)
			MENU設定 LAN CTRL DST IP No.1-10で設定
		操作先の選択	された操作先を選択します。
	FS-10-4K,FS-100		(操作先のIPアドレスを文字表示します)

(4) 表示器

選択されているページ名や MENU の設定項目など情報を表示します。 2 行目には操作先の機種名が表示されます。 4 行目は操作しているコネクター名称を表示します。 PANEL2/3 選択時は PANEL 番号が表示されます。 また、操作先が FS-70M4 の場合はスロット番号も表示します。 LAN 接続で SNMP 制御の場合、フタ付き右ボタン操作で SNMP GET コマンド発行後に取得した値を表示しま す。また LAN 接続で LAN CONTROL の場合は、3 行目に操作先 IP アドレス、4 行目に DST IP 番号とスロッ ト番号が表示されます。

(5) SETTING 機能 ボタン(液晶表示付ボタン)

選択されているページの設定項目や設定値などを表示し、ボタンとその下にあるツマミの操作で値を変更します。

(6) **▲** MENU ボタン

ボタンの点灯・消灯状態により動作が変わります。 消灯時にボタンを押すことで設定ページを切換えます。 橙色点灯時にボタンを押すことで現在の設定値を確定します。 ボタンの長押しによりボタンが赤色点灯し、MENU設定に移ります。

接続	機種	操作	機能
PANEL1	MTX-70		MCP01F(L) 02H(L)のSELECT/FUNCTIONボタン
			10個に割り当てる人力ソースを設定します。
	FS-70M4		FS-70M4本体のMENU設定を行います。
PANEL2/3	FS-70U	MENUボタンを 長押し	FS-70U本体のMENU設定を行います。
	UHC-70, HUC-70		UHC-70/HUC-70本体のMENU設定を行います。
	SNMP		MCP MCP01F(L)02H(L)の設定を行います。
			UHC-70/HUC-70/FS-70-4K/FS-70U本体のMENU 設定を行います。
LAN	UHC-70, HUC-70, FS-70-4K,FS-70U	SHIFTボタンを 長押ししながら MENUボタン押し	SNMPモード設定を除く、MCP MCP01F(L) 02H(L)の 設定を行います。

(7) ▼ SHIFT ボタン

ボタンの点灯・消灯状態により動作が変わります。 消灯時にボタンを押すことで設定ページを切換えます。 橙色点灯時にボタンを押すことで設定値を確定します。 ボタンの長押しにより操作先選択になり、各操作先([PANEL1] [PANEL2] [PANEL3] [LAN])を切換えます。

- (8) 選択ツマミ 各種の数値設定やメニュー項目選択を行うためのツマミです。 ツマミ上部にある液晶表示器付きボタンに表示される、設定項目の値を変更します。
- (9) PANEL LOCK スイッチ

フタ付きボタンや電源スイッチ以外の操作を無効にします。

LOCK 中はスイッチが橙色点灯し、表示器のバックライトが消灯します。

(10) STATUS LED

LED の点灯・点滅や色により動作状態を表します。

操作先機種	機能
MTV_70	正常に接続されればSTATUS LEDが30秒程で赤色点滅から緑色点灯に変わります。
WIT X=70	赤色点滅している場合は通信異常を示します。
FS-70M4, FS-70U	接続が正常であれば緑色点灯します。
UHC-70, HUC-70	接続が異常であれば赤色点灯します。
FS-70-4K	接続先が見つからない場合は赤色点滅します。
	電源投入後は消灯状態です。
SNMP	正常にコマンドが発行された場合は緑色点灯します。
	コマンド発行が異常だった場合は赤色点灯します。

(11) 電源スイッチ

電源の ON/OFF を行います。

(12) 電源コネクター

付属の電源コードを接続するコネクターです。

コネクター部にはヒューズボックスを備えており、予備ヒューズが内挿されています。

(13)LAN コネクター

SNMP 制御と UHC-70/HUC-70/FS-70-4K/FS-70U LAN CONTROL 制御用の LAN コネクターです。 制御対象のネットワークに接続して使用します。

(14)PANEL1

MTX-70 シリーズ制御用の BNC コネクターです。MTX-70 シリーズの標準パネルと同様にカスケード接続 できます。エマージェンシースルーに対応し、電源断時には信号がバイパスされます。 ※MTX-70-42F は使用できる MODE に制限があります。弊社担当者にご確認ください

(15)PANEL2

FS-70M4/FS-70U/UHC-70/HUC-70 のパネル制御用コネクターです。 各機種の PANEL コネクターに接続して使用します。

(16)PANEL3

PANEL2と同じです。

(17)液晶コントラスト調整ボリューム

表示器の液晶コントラストを調整するボリュームです。 ボリュームをマイナスドライバーで回し、コントラストを調整します。

### 4. 操作方法

MCP-01F、MCP-01FL、MCP-02H、MCP-02HLは操作先コネクターの [PANEL1 IN OUT] [ PANEL2] [PANEL3] [LAN] から1つを選択し、各々の操作ができます。

#### 操作先コネクターの選択方法

前面右下部 SHIFT ボタンの長押しによりボタンが青色点灯し、 SETTING内の各ボタンにPANEL1 PANEL2 PANEL3 LAN が表示され、操作先を選択します。 パネルは操作先のコネクターに接続している機種を自動的に認識します。

#### 1. 操作先コネクター[PANEL1]選択時 接続機種MTX-70 ※1

操作状態として通常モード/MENU モード/SHIFT モードがあり、モード毎に SETTING 機能ボタンの内容が変わり ます。

モード	表示器の表示	ボタン1	ボタン2	ボタン3	ボタン4
るよ	DESTINATION1 DESTINATION2 DI		DESTINATION3	DESTINATION4	
迪吊	MITA CONTROL	のSOURCE	のSOURCE	のSOURCE	のSOURCE
	MTX CONTROL	DESTINATION5	DESTINATION6	DESTINATION7	DESTINATION8
		のSOURCE	のSOURCE	のSOURCE	のSOURCE
	SELECT BUTTON	SOURCE			
MENU	SETTING	XX	-	_	_

表4-1.1 各モードにおけるSETTING機能ボタンの表示内容

※1MTX-70-42Fは使用できるMODEに制限があります。弊社担当者にご確認ください

#### i. 通常モード

- (1) 起動直後は通常モードです。 ▼ (SHIFT)ボタンを押すことで SHIFT モードと交互に切り替えます。
- (2) SETTING 内の各ボタンは DESTINATION 1~4の SOURCE が表示されます。ボタンを押すと点灯し選択状態 となりもう一度押すと消灯し未選択状態となります。選択状態のボタンは常に1つです。
- SELECT/FUNCTION 内の各ボタンは SOURCE 選択用です。選択状態の SETTING ボタンの SOURCE を 変更できます。
- (4) SETTING 内の各ボタン下のツマミを回し SOURCE を順番に変更します。

#### ii. SHIFT ₹—ト

- (SHIFT)ボタンを押すことでSHIFT モードとなり、更にボタンを押すことで通常モードと交互に切り替え ます。SHIFT モード時は ▼ ボタンが橙色点灯し SETTING 内の各ボタンは DESTINATION 5~8 の SOURCE が表示されます。
- (2) SOURCE の変更方法は通常モードと同様に行えます。

#### iii. MENUモード

- (1) ▲ (MENU)ボタンの長押しにより MENU モードとなり、SELECT/FUNCTION で選択されているボタンへの SOURCE 割当てを行います。MENU モード中は ▲ ボタンが赤色点灯します。
- (2) ▲ ボタンが赤色点灯した状態で SELECT/FUNCTION ボタンを押すとそのボタンが点灯し、 SETTING ボタンに[SOURCE xx](xx は現在設定されている SOURCE 番号)と表示されます。 SETTING ボタン下のツマミを回し、割り当てる SOURCE を変更します。

(3) ▲ ボタンを押して設定を終了します。

#### 2. 操作先コネクター[PANEL2] [PANEL3]選択時 接続機種FS-70M4

操作状態として通常モードとMENUモードがあり、モード毎にSETTING機能ボタンの内容が変わります。

モード	No.	表示器の表示	ボタン1	ボタン2	ボタン3	ボタン4
	1	VIDEO PROCESS	LUM (LUMINANCE)	SAT (SATURATION)	HUE	SETUP
	2	WHITE BALANCE	RED	GREEN	BLUE	ALL
通常	3	BLACK BALANCE	RED	GREEN	BLUE	ALL
	4	RGB GAIN	RED	GREEN	BLUE	ALL
	5	gamma gain	RED	GREEN	BLUE	ALL
	6	PRESET SEL	PRESET	_	COPY	PASTE
MENU	-	FS-70M4各設定項目	SCREEN ON	_	_	SET

表4-2.1 各ページのSETTING機能ボタン表示内容

#### i. 通常モード

- (1) ▲ ▼ ボタンを押すことでページ切り替えができます。(起動時はページ1です)
- (2) 各ページで任意の項目ボタンを押すとボタンが点灯し、その設定値を変更することができます。
- (3) SETTING の各機能ボタンにおける設定項目を表 4-2.1 に示します。 1~5ページの各項目に対するボタンの長押しにより、初期値を設定することができます。
- (4) ページ6の COPY PASTE は、SELECT/FUNCTION 機能ボタンで選択されているスロットの FS-70M4の 設定をコピー、ペーストすることができます。
  コピーしたいスロットを選択し COPY ボタンを押すと設定情報をコピーします。
  コピーが成功すると短く BEEP 音が鳴り、ボタンが青色点灯になります。
  異常があった場合は長く BEEP 音が鳴り、ボタンが黄色点灯になります。
  コピーの成功後ペーストしたいスロットを選択し PASTE ボタンを押すとペーストされます。
  コピーの時と同様に BEEP 音が鳴りボタン色が変化します。
  【注意:FS-70M4の PANEL MODE 設定は通信ができなくなる可能性があるため、コピー/ペーストすることはできません。本体側の MENU 設定で行います】
- ii. MENUモード
  - (1) (MENU)ボタンの長押しにより SELECT/FUNCTION 機能で選択されているスロットの MENU 設定を 行います。MENU モード中はボタンが赤色点灯します。
  - (2) また SCREEN ON ボタンを押すことで FS-70M4 の SDI 出力に MENU を表示することができます。
  - (3) SET ボタン下のツマミを回して項目を選択後、SET ボタンを押して設定を行います。
  - (4) MENUの設定項目については FS-70M4の取扱い説明書を参照してください。

#### 3. 操作先コネクター[PANEL2] [PANEL3]選択時 接続機種FS-70U

モード	No.	表示器の表示	ボタン1	ボタン2	ボタン3	ボタン4
	1	VIDEO PROCESS	LUM (LUMINANCE)	HUE	SAT (SATURATION)	SETUP
	2	WHITE BALANCE	RED	GREEN	BLUE	ALL
通常	3	BLACK BALANCE	RED	GREEN	BLUE	ALL
	4	RGB GAIN	RED	GREEN	BLUE	ALL
	5	RGB GAMMA	RED	GREEN	BLUE	ALL
	6	SYSTEM	SYNC	1	1	_
MENU	-	FS-70U各設定項目	SCREEN ON	_	-	SET

操作状態として通常モードとMENUモードがあり、モード毎にSETTING機能ボタンの内容が変わります。

#### iii. 通常モード

- (1) ▲ ▼ ボタンを押すことで各ページの切り替えができます。(起動時はページ1です)
   ※SELECT/FUNCTION ボタン操作からも各ページを切り替えることができます。
- (2) 各ページで任意の項目ボタンを押すとボタンが点灯し、その設定値を変更することができます。
- (3) SETTING の各機能ボタンにおける設定項目を表 4-3.1 に示します。 1~5ページの各項目に対するボタンの長押しにより、初期値を設定することができます。
- iv. MENU モード
  - (1) ▲ (MENU)ボタンの長押しにより SELECT/FUNCTION 機能で選択されているスロットの MENU 設定を 行います。MENU モード中はボタンが赤色点灯します。
  - (2) また SCREEN ON ボタンを押すことで FS-70Uの SDI 出力に MENU を表示することができます。
  - (3) SET ボタン下のツマミを回して項目を選択後、SET ボタンを押して設定を行います。
  - (4) MENUの設定項目については FS-70Uの取扱説明書を参照してください。

表4-3.1 各ページのSETTING機能ボタン表示内容

#### 4. 操作先コネクター[PANEL2] [PANEL3]選択時 接続機種UHC-70/HUC-70

操作状態として通常モードとUHC/HUC MENUモードがあり、モード毎にSETTING機能ボタンの内容が変わります。

モード	No.	表示器の表示	ボタン1	ボタン2	ボタン3	ボタン4
	1	VIDEO PROCESS	LUM (LUMINANCE)	SAT (SATURATION)	HUE	SETUP
	2 Y GAN	Y GAMMA ENABLE	Y GAMMA	-	ENABLE	_
诸些	3	WHITE BALANCE	RED	GREEN	BLUE	ALL
通 吊	4	BLACK BALANCE	RED	GREEN	BLUE	ALL
	5	RGB GAIN	RED	GREEN	BLUE	ALL
	6	RGB GAMMA	RED	GREEN	BLUE	ALL
	7	PRESET SEL	PRESET	LOAD	SAVE	_
uhc/huc Menu	Ι	UHC/HUC-70 MENU	-	_	I	SET MENU項目

表4-4.1 各ページのSETTING機能ボタン表示内容

#### i. 通常モード

- (1) を押すことで各ページの切り替えができます。(起動時はページ1です)
   ※SELECT/FUNCTION ボタン操作からも各ページを切り替えることができます。
- (2) 各ページで任意の項目ボタンを押すとボタンが点灯し、その設定値を変更することができます。
- (3) SETTING の各機能ボタンにおける設定項目を表 4-4.1 に示します。
   1~6ページの各項目に対するボタンの長押しにより、初期値を設定することができます。
- (4) ページ7のLOADは、PRESET ボタンに表示される番号の設定をUHC-70/HUC-70に読み出します。
- (5) ページ7の SAVE は、PRESET ボタンに表示される番号に UHC-70/HUC-70の設定を保存します。
   【注意:PRESET ボタンにINIT と表示されている場合、SAVE は機能しません】

#### ii. UHC/HUC MENU モード

- (1) UHC-70/HUC-70本体の MENU 設定を行います。
   ▲ (MENU)ボタンを長押しし、MENU モードに入ります。MENU モード中はこのボタンが緑色点灯します。
- (2) UHC-70/HUC-70本体の前面表示器に表示される各設定項目が SET ボタンの 2 行目に表示されます。
- (3) SET ボタン下のツマミを回して項目を選択後、SET ボタンを押して設定を行います。
- (4) MENUの設定項目については UHC-70/HUC-70の取扱説明書を参照してください。

#### 5. 操作先コネクター[LAN]選択時 [LAN MODE] SNMP設定時

操作先が[LAN]でMCPの設定MENU[LAN MODE]がSNMPの時、SELECT/FUNCTIONの各ボタンは SNMP制御コマンド発行ボタンとなります。

各ボタンにはSNMP経由で5個のSETコマンドを割り当てることが可能です。

通常モード10個とSHIFTモード10個のボタンを動作可能で、20個分のボタンとして利用できます。



通常モード/SHIFTモード/MENUモードの3つの操作状態があります。

#### i. 通常モード

- (1) ▼ (SHIFT) ボタンを押すことで SHIFT モードと交互に切り替えます。(起動時は通常モードです)
- (2) SETTING の各ボタンは左から アドレスセット番号 製品選択 OID/INDEX 選択 VALUE(値)設定 それぞれ の設定の有効無効、選択用で動作します。ボタンの点灯時は設定可能、消灯時は設定不可状態となります。 以下、左から順に設定内容について説明します。

#### ・アドレスセットの選択

アドレスは MENU 内に 20 セットまで設定でき、1 セットに含まれる内容は SNMP GET または SET コマンドを発行する宛先 IP アドレスとコミュニティ名となります。 このボタン下のツマミを回すことで任意のアドレス(1~20)を選択します。

·製品選択

このボタン下のツマミを回すことで 70 シリーズの対応機種を選択します。

・OID/INDEX 選択

SNMPのMIB OBJECT IDとINDEX 番号の設定を切換えて行います。項目名の表示にも切り替えられます。 MIB 情報などは各 70 シリーズ製品の取扱説明書から参照し、目的の項目を選択します。 INDEX については 70 シリーズ製品のスロット指定として利用しているため、制御対象となる製品のスロット 番号を INDEX に指定します。

・VALUE(値)の設定

各 OID 項目の値を設定します。-4095 より小さいか 4095 より大きな値は 16 進表示されます。 VALUE ボタンを長押しし、表示器 4 行目[GET]に表示されている値を設定します。

- (3) (2)の設定ができたらフタ付き右ボタンを押し、表示内容の GET コマンドを1回発行します。
   正常に発行された場合 STATUS ランプが緑色点灯となり、取得した値が表示器の4行目に表示されます。
   -4095 より小さいか 4095 より大きな値は16 進表示されます。
- (4) (2)の設定ができたらフタ付き左ボタンを押し、表示内容の SET コマンドを 1 回発行します。 正常に発行された場合 STATUS ランプが緑色点灯となります。
- ii. SHIFT €—ド
  - (1) ▼ (SHIFT)ボタンを押すことで SHIFT モードとなり、更にボタンを押すことで通常モードと交互に切り替え ます。

SHIFT モード中は ▼ ボタンが橙色点灯し、SELECT/FUNCTION の各ボタンはボタン 11~20 として動作します。

- (2) 使用方法は通常モードと同じです。
- iii. MENU モード
  - (1) (MENU)ボタンを長押しすることで MENU モードに移行します。

MENU モード中は ▲ ボタンが赤色点灯します。

- (2) ▲ ボタンが赤色点灯した状態で、SETTING ボタンに各機能や項目が表示されます。
   各ボタン下のツマミで設定値を変更します。
   MENU モードの初期表示は SETTING ボタン 1 が[SELECT]、 SETTING ボタン 4 が[SET]です。
   SELECT ボタン下のツマミを回して項目の選択を行い、SET ボタンを押して項目の下階層に移動します。
   各設定項目についてはメニューツリーを参照ください。
- (3) (3) ボタンを押すことでメニューツリー内の上階層へ移動し、最上階層からの操作で MENU モードを抜け 通常モードに移ります。

#### iv. SNMP 制御対応機種

A: ADA-70MS, ADA-70S, ADA-70V, ADC-70B-AES, ADC-70BSD-E, AVDL-70U

C: CHO-70AES, CHO-70SDI, CHO-70TS, CHO-70U, CI-70V, CK-70EC, CK-70S, CK-70U, CK-70W, CK-70WB

- D: DAC-70B-AES, DAC-70V-AES, DDA-70AES-L, DDA-70B-AES, DDA-70TS, DDA-70E-S, DDA-70V-AES, DDA-70VM, DLY-70V, DMX-70B, DMX-70B-A2, DMX-70B-A4, DMX-70U, DMX-70U-A, DMX-70U-D
- F: FS-70-4K, FS-70H, FS-70M, FS-70M4, FS-70U
- H: HMS-70, HSC-70H, HSC-70H-A, HSC-70H-AR, HUC-70, HUC-70U
- L: LDC-70HD/SD, LG-70V, LM-70U,
- M: MF-70V-CK, MF-70V, MMG-70U, MMG-70US, MTX-70-84, MTX-70-164, MTX-70-88, MTX-70-168, MTX-70-42, MTX-70-42F MTX-70AES-168, MTX-70U-42, MTX-70U-88, MTX-70U-168, MTX-70U-1616, MTX-70U-3232, MUX-70H, MUX-70H-A, MUX-70H-D, MUX-70U, MUX-70U-A, MUX-70U-D, MUX-70R, MUX-70V, MUX-70V-A, MUX-70V-D
- P: PG-70V
- Q: QSW-70HD
- S: SG-70U, SG-70V, SHC-70G, SHC-70G-01, SHC-70V-A, SHC-70V, SLC-70U, SM-70HD/SD, SMS-70V,
- SV-70HD,

SW-70-212, SW-70-422, SW-70-GPI

- T: TAJ-70-422, TCI-70HD/SD, TG-70V, TLG-70S, TLG-70SB, TLG-70U
- U: UHC-70, UHC-70U, UHX-70U
- V: VT-70G, VT-70VR, VT-70VRC

#### 6. 操作先コネクター[LAN]選択時 [LAN MODE] LAN CONTROL設定時

操作先が[LAN]で MCP の設定 MENU[LAN MODE] が LAN CONTROL 設定時において、 SELECT/FUNCTION ボタンは制御対象とする本体(UHC-70/HUC-70/FS-70-4K/FS-70U)を選択します。 本体が実装されている Vbus 筐体の IP アドレス/ポート番号/実装スロットを MENU 項目[LAN CTRL DST IP] で No.1~10 に設定します。

SELECT/FUNCTIONの各ボタンは左上からNo.1~10を制御対象として選択します。

MCP-01F、02H は LAN CTRL DST IP No.1~10 で設定されている IP アドレスが SELECT/FUNCTION ボタンに 表示されます。

LAN CONTROL では通常モード/LAN CTRL MENU モード/MCP MENU モードの3つの操作状態があります。

モード	No.	表示器の表示	ボタン1	ボタン2	ボタン3	ボタン4
	1	VIDEO PROCESS	LUM (LUMINANCE)	SAT (SATURATION)	HUE	SETUP
	2	Y GAMMA ENABLE	Y GAMMA	_	ENABLE	
运告	3	WHITE BALANCE	RED	GREEN	BLUE	ALL
迪币	4	BLACK BALANCE	RED	GREEN	BLUE	ALL
	5	rgb gain	RED	GREEN	BLUE	ALL
	6	RGB GAMMA	RED	GREEN	BLUE	ALL
	7	PRESET SEL	PRESET	LOAD	SAVE	
LAN						SET
CTRL	-	[機種名] MENU				MENI IT百日
MENU						
MCP	_	<b> 冬</b> 沿 定 百日	SELECT	項目により	項目により	項目により
MENU			JELLOT	CURSOR	VALUE	SET

表4-6.1 各ページのSETTING機能ボタン表示内容

#### i. 通常モード

- SELECT/FUNCTION ボタンにて制御対象の UHC-70/HUC-70/FS-70-4K/FS-70U を選択します。
   表示器の3行目には制御対象のIPアドレスが表示され、4行目に表示される[CONNECT: LAN-nn SLOT-ss]の内、nnは制御対象のLAN CTRL DST IPを、No. ss はスロット番号を示します。
- (2) ▲ ▼ ボタンを押すことで 1~7 ページを移動し、各機能を選択できます。
- (3) 各ページで任意項目のボタンを押すことで、ボタンが点灯し設定値の変更ができます。
- (4) SETTING の機能ボタンにおける設定項目を表 4-6.1 に示します。
   1~6ページの各項目に対するボタンの長押しにより、初期値を設定することができます。
- (5) ページ7のLOADは、PRESET ボタンに表示される番号の設定をUHC-70/HUC-70/FS-70-4Kに読み出し ます。
- (6) ページ7の SAVE は、PRESET ボタンに表示される番号に UHC-70/HUC-70の設定を保存します。
   【注意:PRESET ボタンに INIT と表示されている場合、SAVE は機能しません】

- ii. LAN CONTROL MENU モード
  - (MENU)ボタンの長押しによりUHC-70/HUC-70/FS-70-4K/FS-70U本体のMENU設定を行います。
     MENUモード中はこのボタンが緑色点灯します。
  - (2) UHC-70/HUC-70/FS-70-4K/FS-70U本体の前面表示器に表示される各設定項目がSET ボタンの2行目に 表示されます。FS-70Uは本体の前面表示器に表示される各設定項目が表示器に表示されます。
  - (3) SET ボタン下のツマミを回して項目を選択後、SET ボタンを押して設定を行います。
  - (4) MENU の設定項目については UHC-70/HUC-70/FS-70-4K/FS-70U の取扱説明書を参照してください。

#### iii. MCP MENU モード

- (1) SHIFT ボタンを長押しし SETTING ボタンが青色点灯しているときに ▲ (MENU)ボタンを押すと、 MCP CONFIG MENU の設定を行えます。この時 ▲ ボタンが赤色点灯します。
- (2) 表示器に[MCP CONFIG]と表示されます。SET ボタンを押すと表示器に[LAN MODE]が表示されます。
- (3) SETTING ボタンに各機能が表示されます。各ボタン下のツマミを回し設定値を変更します。 SELECT ボタン下のツマミを回し項目を選択します。表示器には選択した項目が表示されます。 SET ボタンで各項目の下階層への移動や設定値を確定します。 設定項目については各機種本体のメニューツリーを参照ください。 (注)[LAN MODE]が SNMP の場合、MENU ツリー[MCP CONFIG]以下の項目のみ表示されます。
- (4) ▲ ボタンを押すと設定がキャンセルされ、MENU ツリーの上階層へ移動します。 最上階層でボタンを押すと赤色点灯が消え、MENU モードから通常モードへ移ります。

## 5. メニューツリー

①~⑤は LAN MODE 設定[SNMP]時のみ表示



LAN MODE	SELECT		VALUE	SET	<b>(6)-(1)</b>
IP ADDRESS	SELECT	CURSOR	VALUE	SET	<b>(6)-(2)</b>
SUBNET MASK	SELECT	CURSOR	VALUE	SET	(6)-(3)
GATEWAY	SELECT	CURSOR	VALUE	SET	6-(4)
DNS	SELECT	CURSOR	VALUE	SET	(6)-(5)
— TIME SERVER ······	SELECT	CURSOR	VALUE	SET	(6)-(6)
	SELECT		VALUE	SET	<b>(6–(7)</b>
SYNC TIME	SELECT	CURSOR	VALUE	SET	(6)-(8)
	SELECT		VALUE	SET	(6)-(9)
	SELECT	CLIRSOR	VALUE	SET	
DATE & TIME		OUNSON	VALUE	JEI	(6)-(10)
UHC DST IP	SELECT			SET	<b>()-(11)</b>
UHC DST IP No. 1	SELECT	CURSOR	VALUE	SET	
UHC DST IP No. 10	SELECT	CURSOR	VALUE	SET	



#### •MENU内容詳細

MENU ボタンの長押しによりボタンが赤色点灯し、SETTING内にSELECT とSET ボタンが表示されます。

SELECT ボタン下のツマミを回し項目選択後、SET ボタンを押すことで下階層への項目移動や値の設定を行い ます。

MENU ボタンを押すことで項目の設定をキャンセルし、メニューの上階層へ移動します。

① ADD COMMAND TO BUTTON (⑥-(1)LAN MODE 設定[SNMP]時のみ表示)

SELECT/FUNCTIONの各ボタンに対し、SNMP経由のSETコマンドを最大5個まで割り当てることができます。

SETTING ボタンとその下のツマミ操作により割り当てるコマンドを表示器に表示させ、SELECT/FUNCTIONの各 ボタンを長押しすることで、その時表示されているコマンドが押されたSELECT/FUNCTIONボタンに最大5個まで 追加します。またSHIFT ボタンの併用によりSELECT/FUNCTIONボタンの11~20を使用できます。

本体左側に配置された2つのフタ付きボタンを押すことにより、左ボタンはSNMP SETコマンド、右ボタンはSNMP GETコマンドのテスト発行を行うことができます。

SETコマンドの発行は表示器に表示中の、宛先IPアドレス、機種、OID(NAME/ID/INDEX)に対し、表示している VALUE(値)を含むSETコマンドをSNMP経由で発行します。

同様にGETコマンドの発行ではGETコマンドを発行します。

コマンド発行が正常の場合はSTATUS LEDが緑色点灯し、異常の場合は赤色点灯します。

(1) DST ADRS

番号	名称	説明
U1	ADRS No	コマンドの発行先のアドレスセットを選択します。アドレスセットは IP アドレスと コミュニティ名のセットが 1 組となっており、MENU④ADDRESS SETTING で設定 します。
U2	MODEL	機種を選択します。
U3	NAME/ID/INDEX	このボタンを押す度に、設定対象を OID NAME/OID 番号/INDEX に切り替えます。 INDEX は発行先の Vbus 筐体に実装されているスロットの番号です。 表示器のカーソル部分が設定対象となり、設定できます。
U4	VALUE	発行先に SET する値を設定します。 -4095 より小さいか 4095 より大きな値は 16 進表示されます。 このボタンを長押しすることで、表示器 4 行目[GET]の表示値を設定します。

② BUTTON COPY (⑥-(1) LAN MODE 設定[SNMP]時のみ表示)

ボタンに割り当てられている全てのコマンドを、他のボタンにコピー/ペーストします。

(1) BUTTON COPY

U3初期状態はボタンが黄色点灯し[]が表示されます。SELECT/FUNCTIONの任意U3COPYを選択後、このボタンを押すと選択ボタンのコマンドがコピーされ、ボタンが青色に コピー元のボタン番号を表示します。U4PASTESELECT/FUNCTIONの選択ボタンにペーストします。U3 ボタンが黄色点灯してい	番号	名称	説明
このボタンを押すことで、U3 ボタンに表示されるボタン番号の全コマ U4 PASTE SELECT/FUNCTIONの選択ボタンにペーストします。U3 ボタンが黄色点灯してい	U3	COPY	初期状態はボタンが黄色点灯し[]が表示されます。SELECT/FUNCTION の任意ボタン を選択後、このボタンを押すと選択ボタンのコマンドがコピーされ、ボタンが青色に変化し コピー元のボタン番号を表示します。
は、コピー操作を行ってからペースト操作をしてください。	U4	PASTE	このボタンを押すことで、U3 ボタンに表示されるボタン番号の全コマンドを SELECT/FUNCTION の選択ボタンにペーストします。U3 ボタンが黄色点灯している場合 は、コピー操作を行ってからペースト操作をしてください。

SHIFT ボタンを押すことで SELECT/FUNCTION のボタン 11~20を選択できます。

#### ③ CHECK & DELETE COMMAND (⑥-(1) LAN MODE 設定[SNMP]時のみ表示)

#### (1) DEL CMD

番号	名称	説明
U1		選択中の SELECT/FUNCTION ボタンに割り当てられているコマンドを選択し表示します。
	CIVID NO	U1 ツマミで表示するコマンド 01~05 を選択できます。
		選択 SELECT/FUNCTION ボタンの表示されるコマンドの 1 つを削除します。削除以降の
U3	DELETE	コマンドは詰めて表示されます。例えば、コマンド1、コマンド2、コマンド3が割り当てられ
		ているときにコマンド2を削除するとコマンド3はコマンド2に自動で移動します。

SHIFT ボタンを押すことで SELECT/FUNCTION のボタン 11~20を選択できます。

④ ADDRESS SETTING (⑥-(1)LAN MODE 設定[SNMP]時のみ表示)

コマンド発行先を最大20個まで登録できます。

発行先IPアドレスとコミュニティ名を組にして管理します。

(1) ADDRESS SET No.

番号	名称	説明
U1	SET NO	セット番号 1~20を U1 ツマミで選択します。
U2	CURSOR	表示器のカーソルを移動し設定対象を選択します。
U3	VALUE	カーソルで選択されている対象の設定値を変更します。
U4	SET	表示器に表示されている内容を確定し保存します。

⑤ BUTTON COLOR NAME (⑥-(1)LAN MODE 設定[SNMP]時のみ表示)
 SELECT/FUNCTIONボタンの表示色0から64と表示名16文字を設定できます。
 MCP-01FL、MCP-02HLでは表示されません。

(1) BUTTONxx(xx はボタン番号) COLOR NAME SET

番号	名称	説明
1.14	SET NO	SELECT/FUNCTION ボタン番号 1~20 を U1 ツマミで選択します。
UI		選択されているボタン番号は表示器の最上部に表示されます。
U2	CURSOR	表示器のカーソルを移動し設定対象を選択します。
U3	VALUE	カーソルで選択されている対象の設定値を変更します。
U4	SET	表示器に表示されている内容を確定し保存します。

#### **(6) MCP CONFIG**

#### MCP本体の環境設定を行います。

番号	名称	説明
U1	SELECT	U1 ツマミで各設定項目を選択します。
U2	CURSOR	表示器のカーソルを移動し設定対象を選択します。
U3	VALUE	カーソルで選択されている対象の設定値を変更します。
U4	SET	表示器に表示されている内容を確定し保存します。

(1) LAN MODE

MCP の LAN コネクター経由で SNMP 制御を行うか、UHC/HUC-70/FS-70-4K (LAN ONTROL)を制御するか を選択します。

(2) IP ADDRESS

MCP 本体の IP アドレスを設定します。

(3) SUBNET MASK

MCP 本体のサブネットマスクを設定します。

(4) GATEWAY

MCP 本体のデフォルトゲートウェイを設定します。

- (5) DNS MCP 本体のドメインネームサーバーを設定します。
- (6) TIME SERVER

ネットワーク経由で SNTP 時刻校正を行うためのタイムサーバーを設定します。

(7) TIME SYNC

時刻校正の種類を OFF/TIME/INTERVAL から選択します。

OFF: 時刻校正を行いません。

TIME: 次項目 SYNC TIME で設定した時刻に校正を行います。

INTERVAL: 次項目 SYNC TIME で設定した間隔で時刻校正を行います。

(8) SYNC TIME

校正時刻を HH:MM:SS で設定します。 (7)TIME SYNC の設定が TIME 設定時校正時刻指定で動作します。 設定値が 030000 のとき、毎日午前3時に校正します。 設定値の時が24時以上を設定した際、設定値が240330のとき、毎時3分30秒に校正します。 (7)TIME SYNC の設定が INTERVAL 設定時 校正時間間隔を設定できます。 設定値が 030000 のとき 3 時間ごとに時刻校正します。

- (9) TIME ZONEタイムゾーンを設定します。
- (10) DATE & TIME時刻の表示と設定を行います。
- (11) LAN CTRL DST IP No.1-10

(1) LAN MODE の設定を[LAN CONTROL]で使用した際に、制御先の UHC-70/HUC-70/FS-70-4K を 10 台まで指定します。
 UHC-70/HUC-70/FS-70-4K が実装されている Vbus 筐体の IP アドレス、ポート番号、スロット番号を設定しまナ

す。

- (12) MANAGER IP将来拡張予定です。0.0.0.0 で使用してください
- (13) COMMUNITYMCP 本体の SNMP コミュニティ名の設定です。
- (14) PORT No.

将来拡張予定です。SERVER:9010 CLIENT:9011 のまま使用してください。

(15) PHY MODE

Auto Negotiation/10M Half/10M Full/100M Half/100M Full を選択できます。

(16) VERSION

ファームウェアのバージョンを表示します。

# 6. 工場出荷時設定

SHIFT ボタンと SELECT/FUNCTION ボタンの BUTTON10(右下)を、2つ共押した状態で電源を入れることで 工場出荷時の設定で起動します。



#### 工場出荷時の設定

項目	設定値	備考
SELECT/FUNCTION ボタン 1-20 割当てコマンド	コマンドなし	
ADDRESS SETTING IP アドレス 1-20	0.0.0.0	
ADDRESS SETTING コミュニティ名 1-20	VIDEOTRON	
SELECT FUNCTION ボタン 1-20 ボタン色	ボタン 1-10:56 ボタン 11-20:08	MCP-01F MCP-02H
SELECT FUNCTION ボタン 1-20 表示文字	BUTTON xx xx はボタン番号 1 から 20	MCP-01F MCP-02H
PANEL2 MODEL	FS-70M4	
PANEL3 MODEL	FS-70M4	
LAN MODE	SNMP	
IP アドレス	192.168.1.1	
サブネットマスク	255.255.255.0	
デフォルトゲートウェイ	0.0.0.0	
DNS	0.0.0.0	
TIME SERVER	ntp.nict.jp	
TIME SYNC	OFF	
SYNC TIME	03:00:00	
TIME ZONE	9hour	
UHC/HUC DST IP1-10 [IP アドレス]	0.0.0.0	
UHC/HUC DST IP1-10 [PORT No.]	9010	
UHC/HUC DST IP1−10 [SLOT N₀.]	1	
MANAGER IP1-10	0.0.0.0	未使用
COMMUNITY	VIDEOTRON	
PORT No. SERVER	9010	未使用
PORT No. CLIENT	9011	未使用
PHY MODE	Auto Negotiation	

## 7. トラブルシューティング

トラブルが発生した場合の対処法です。(文中の→は対処方法を示しています) 筐体のトラブルに関しては、筐体の取扱説明書もあわせてご覧ください。

- 現象 電源が入らない!
- 原因・筐体の電源ケーブルは接続されていますか?
   ・筐体の電源スイッチはON側になっていますか?
   →電源ヒューズをご確認ください。
- 現象 まったく動作しない!表示器が点灯しない!
- 原因 ・PANEL LOCKはOFFになっていますか? ・ボタンは点灯していますか? →PANEL LOCKをOFFにしてください。
- 現象 アラーム音が止まらない!
- 原 因 ・選択されているスロット番号は操作先と一致していますか?

・操作先コネクターは正しく選択されていますか?

- → SHIFT ボタンを長押しして正しい操作先を選択してください。
- ・FS-70M4のREMOTE設定は正しく設定されていますか?
- →BNCケーブルが接続されているFS-70M4はMASTER もしくはSTAND ALONE に設定され BNCケーブルが接続されていないFS-70M4はSUBに設定され、実装されている筐体内に ー台だけMASTER設定されているFS-70M4が必要となります。
- 現象 PANEL2/3にて対象機種との接続ができない!
- 原因・PANEL2/3と対象機種がBNCケーブルで繋がれていますか?
   →本体背面のPANEL2/3と対象機種のPANELコネクターをBNCケーブルで繋ぎます。
- 現象 MCP本体のMENUに入れない!
- 原因 ・[LAN MODE]が[LAN CONTROL]設定時はSHIFTボタンを押しながらMENUを押します。 →詳しくはp.18 MCP MENUモード、p.9(6)MENUボタンを参照ください。

ご不明な点は、当社までご連絡ください。

# 8. 仕様

1.機能	
STATUSランプ	制御機器と接続した時の状態をあらわします。 操作可能である場合は緑色に、通信不良である場合は赤色に点灯します。
LOCKスイッチ	MCP-01F、MCP-01F、MCP-02H、MCP-02HL の操作を禁止にします。 (フタ付きボタンを除く)
ネットワーク制御	MCP-01F、MCP-01FL、MCP-02H、MCP-02HL は LAN コネクターが搭載されています。 [LAN MODE]が SNMP の場合、SNMP 経由で弊社 70 シリーズを制御できます。 [LAN MODE]がLAN CONTROLの場合、UHC-70/HUC-70/FS-70-4K/FS-70Uを制御でき ます。

#### 2. 定格

外部 I/F	
• PANEL1 IN	2Vp-p/75Ω、 BNC 1系統
PANEL1 OUT	2Vp-p/75Ω、 BNC 1系統
• PANEL 2, 3	2Vp-p/75Ω、 BNC 各1系統
• Ethernet	10/100BASE-T、 RJ45 1 系統
動作温度	0∼40°C
動作湿度	20~80%RH(ただし結露なき事)
電源	AC90~250V、 50/60Hz
消費電力	10VA (5V,2A)
質量	1.5kg MCP-01F(L) 、1.3kg MCP-02H(L)
外形寸法	420W×44H×86.8D(突起物含まず) MCP-01F(L) 215W×88H×65D(突起物含まず) MCP-02H(L)

# 3.性能

外部 I/F	
• PANEL1 IN	100m/3C2V
PANEL1 OUT	100m/3C2V
PANEL 2,3	100m/3C2V
	※エマージェンシーバイパス機能は機械リレーを使用している関係で、 連続して複数のパネルの電源が同時に切れた場合の動作保障は致しかねます。

#### 4. 外形図









(3) MCP-02H



#### (4) MCP-02HL



※注外観及び仕様は変更することがあります



# お問い合わせ

製品に関するお問い合わせは、下記サポートダイヤルにて承ります。
 本社営業部/サポートセンター TEL 042-666-6311
 大阪営業所 TEL 06-6195-8741
 ビデオトロン株式会社 E-Mail:sales@videotron.co.jp
 本社 〒193-0835 東京都八王子市千人町 2-17-16
 大阪営業所 〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島6-8-8 花原第8ビル 5F

נדארם>weby-r> https://www.videotron.co.jp 101740R18

本書の内容については、予告なしに変更する事がありますので予めご了承下さい。